

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(1) 職務の理解			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	3	3		<講義内容> ・視聴覚教材を用いて各種介護保険サービス、介護保険外サービスの紹介 ・介護保険サービス及び障がい福祉サービス他介護保険外サービスの種類と内容及び特徴の説明 <演習内容> ・場面を想定しての自己紹介①介護施設に就職して初出勤の日、同僚となる職員に向けて。②利用者の家にヘルパーとして初めて訪問、利用者及び家族に向けて。
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		<講義内容> ・視聴覚教材を用いた介護現場の紹介 ・講師による体験談 <演習内容> ・訪問系、通所系、入所・入居系の各介護現場で提供されると思われるケアの内容をグループで話し合う。
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	(株)QOL 発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属 DVD パソコン、視聴覚教材 ( DVD )、プロジェクター、スクリーン
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①人権と尊厳を支える介護	4	1	3	<講義内容> ・人権と尊厳の保持に係る基本的視点についての講義 ・人権と尊厳の保持に係る諸制度・法制度の講義 <演習内容> ・介護現場で起こり得る「尊厳の侵害」にはどのようなものがあるかグループで話し合う。 <通信学習課題> ・介護における尊厳の保持・自立支援に関する正誤問題 ・ICF、QOLに関する記述問題 ・虐待の種類、身体拘束の例、身体拘束を廃止するための5つの指針、やむを得ず身体拘束しなければならない場合の要件とその内容についての記述問題
②自立に向けた介護	3	1	2	<講義内容> ・具体例を交えた自立支援・介護予防の基本的視点についての講義 <演習内容> ・ベッドで寝たきりになるとどのような症状が出てくるか、身体面・精神面・社会面の3つの面から考えグループで話し合う。 <通信学習課題> ・自立支援に関する完成問題 ・生活不活発病の症状例を身体面・精神面・社会面それぞれからまとめる ・過剰介護を防止するためのポイントをまとめる
③人権啓発に係る基礎知識 (2時間)	2	2		<講義内容> ・身近な人権のこの具体例を交えた講義 <演習内容> ・「身の回りの人権問題」についてグループで話し合う。
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	(株)QOL 発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属 DVD パソコン、視聴覚教材 ( DVD )、プロジェクター、スクリーン
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。</li> <li>・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。</li> </ul>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	1	0.5	<講義内容> ・サービス事業ごと、専門職種ごとの特徴、役割、チームケアの重要性についての講義 <演習内容> ・チームケアに必要な 3 つのポイントについて話し合う。 <通信学習課題> ・介護の基本に関する正誤問題
②介護職の職業倫理	1.5	0.5	1	<講義内容> ・介護福祉士制度に基づく介護職に求められる高い倫理観についての講義 ・サービス提供過程におけるモラルハザードの具体例を交えた講義 <通信学習課題> ・日本介護福祉士会の倫理綱領の項目と概要をまとめる。
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2	1	1	<講義内容> ・介護現場におけるリスクマネジメントの実務についての講義 <演習内容> ・教科書添付 DVD の事例からヒヤリハット報告書を書く。 <通信学習課題> ・介護現場で起こり得る利用者の身体面、精神面、社会面のリスクを例示する。 ・空気感染、飛沫感染、接触感染で起こる主な感染症についてまとめる。
④介護職の安全	1	0.5	0.5	<講義内容> ・介護職のストレスマネジメントを具体例を交えて講義 <演習内容> ・正しい手洗いを実際に行う。 <通信学習課題> ・介護職員に起きやすい健康障害である「腰痛」について、主な予防方法を 4 つ記述する。
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株)QOL 発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属 DVD パソコン、視聴覚教材 ( DVD )、プロジェクター、スクリーン
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携			
指導目標	介護保険制度や障がい者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	3.5	1	2.5	<講義内容> ・介護保険制度創設の背景・動向、仕組み全般についての講義 <通信学習課題> ・介護保険制度に関して、財源構成、特定疾病、ケアプラン、地域包括支援センター、地域密着型サービスについての設問に答える。
②医療との連携とリハビリテーション	3.5	1	2.5	<講義内容> ・介護職としての医療行為を具体例を交えて講義 <演習内容> ・①介護が得意とするところ、看護が得意とするところを話し合う、②今までに医療関係者や介護関係者とかがわった経験の中で意味が分かりにくかった言葉や言い回し、表現などを話し合う。 <通信学習課題> ・訪問看護に関する完成問題 ・リハビリの3つの視点に関する記述問題 ・介護職員が行える医療行為と行えない医療行為についての記述問題
③障がい者総合支援制度およびその他制度	2	0.5	1.5	<講義内容> ・障がい福祉サービス諸制度の動向、仕組みについての講義。 <演習内容> ・機能障害が同じでも、人によって活動制限や参加制約が異なるという例を出し合う。 <通信学習課題> ・正誤判定、完成問題
(合計時間数)	9	2.5	6.5	

使用する機器・備品等	(株)QOL 発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属 DVD パソコン、視聴覚教材 ( DVD )、プロジェクター、スクリーン
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護におけるコミュニケーション	3	1.5	1.5	<講義内容> ・対象利用者の身体的・心理的特徴を踏まえたコミュニケーション技法についての講義 <演習内容> ・50音盤を使うコミュニケーションを体験し、バーバルコミュニケーションについて話し合う。 ・ノンバーバルコミュニケーションを体験する、①ジェスチャーゲーム②サイレントウォーク③タッチ <通信学習課題> ・コミュニケーションに関する正誤問題 ・介護職が利用者の家族とコミュニケーションをとる場合の留意点をまとめる。 ・ノンバーバルコミュニケーションに関する記述問題
②介護におけるチームのコミュニケーション	3	1.5	1.5	<講義内容> ・介護現場における記録の目的・方法について具体例を交えた講義 ・報告・連絡・相談の留意点について具体例を交えた講義 <演習内容> ・事例を基に作成した介護記録について話し合う。 ・仮想のケースカンファレンスをする。 <通信学習課題> ・介護記録の意義・目的についての記述問題 ・報告についての留意点についての記述問題
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株)QOL発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属DVD パソコン、視聴覚教材(DVD)、プロジェクター、スクリーン 50音盤
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	<講義内容> ・老年期に起きる心身機能の変化について具体例を交えて講義 <演習内容> ・加齢に伴い喪失するものを挙げてみる。 ・加齢による身体面、精神面、社会面の変化により、日常生活でどのような影響が出てくるか話し合う。 <通信学習課題> ・加齢に伴う変化について膝が曲がる要因についての記述問題 ・高齢者の筋力低下による動きと歩行、姿勢についての記述問題
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	<講義内容> ・高齢者に多い疾病とその対応・留意点について具体例を交えて講義 <演習内容> ・高齢者の歩き方を模倣してみる。 ・高齢者に多い病気を出し合い、日常生活上の注意点を話し合う。 <通信学習課題> ・高齢者に多い症状や疾患についての正誤問題 ・誤嚥性肺炎、パーキンソン病、変形性関節症についての記述問題
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株)QOL 発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属 DVD パソコン、視聴覚教材 ( DVD )、プロジェクター、スクリーン 高齢者疑似体験教材
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①認知症を取り巻く状況	2	1	1	<講義内容> ・認知症ケアの基本的視点について講義 <演習内容> ・現在自分が持っている認知症のイメージ、認知症介護のイメージについて話し合う。 ・「パーソン・センタード・ケア」の考え方で認知症の人への対応を話し合う。 <通信学習課題> ・認知症の方の尊厳を保持するケアにおいて、身体面・精神面・社会面それぞれの面に注意を払った対応についてまとめる。
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1	0.5	0.5	<講義内容> ・医学的視点で認知症の病理、治療方法についての基礎知識について具体例を交えて講義 <通信学習課題> ・認知症の原因疾患と病態、疾患別ケアについての正誤問題 ・認知症と健忘の違いをまとめる
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	<講義内容> ・認知症状ごとのケア手法について具体例を交えて講義 ・認知症ケアの注意点について具体例を交えて講義 <演習内容> ・BPSDにはどのようなものがあり、その背景に潜む原因について考える。 ・認知症の人が認知しやすい環境設定にはどのようなものがあるか考える。 <通信学習課題> ・認知症の介護の基本的視点を記述する。 ・認知症の方への環境設定で留意する点をまとめる。
④家族への支援	1	0.5	0.5	<講義内容> ・認知症利用者を介護する家族を取り巻く状況について、具体例を交えて講義。 ・レスパイトケアの具体例を交えて講義 <演習内容> ・認知症の方の家族に対する支援としてはどのようなものがあるか話し合う。 <通信学習課題> ・認知症の方の家族への支援の視点についての記述問題
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	(株)QOL発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属DVD パソコン、視聴覚教材(DVD)、プロジェクター、スクリーン
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①障がいの基礎的理解	1	0.5	0.5	<講義内容> ・障がい者福祉の理念についての講義 <演習内容> ・生活機能の維持改善を目指す方法について話し合う。 <通信学習課題> ・ノーマライゼーションの概念についての記述問題
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1.5	0.5	1	<講義内容> ・障がいごとの心理・行動の特徴とそれに対する支援方法について具体例を交えて講義 <演習内容> ・身体障がいと精神障がいについて、具体的にどのような障がいがあるかを話し合う。 <通信学習課題> ・失認に関する完成問題 ・遂行機能と遂行機能障がいに関する記述問題
③家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5	0	<講義内容> ・障がい者を介護する家族を取り巻く状況について、具体例を交えて講義。 ・レスパイトケアの具体例を交えて講義 <演習内容> ・各障がいを持つ人の家族は、どのようなことに困るだろうか、またどのような支援があれば助かるかを考える。
(合計時間数)	3	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	(株)QOL 発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属 DVD パソコン、視聴覚教材 ( DVD )、プロジェクター、スクリーン
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	<p>・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。</p> <p>・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。</p>			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
ア 基本知識の学習 (10～13 時間) ①介護の基本的な考え方	4	3	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスについて具体例を交えて講義</li> <li>・エビデンスに基づくケア展開の重要性について具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連行型介助、本人が動く介助、視線の向きの違い、スピードの違い、介助のタイミング、どこを介助するか、どこから介助するか、介助の優先順位について演習する。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身が介護を受けるとしたらどのような介護を受けたいと思うかをまとめる。</li> </ul>
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	3	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こころとからだの相関についてその影響と基礎的知識について、具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交感神経と副交感神経について、どんな時に働き、どのような症状が現れるかグループディスカッションする。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記憶の種類についての記述問題</li> </ul>
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	3	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職として知っておくべきからだの仕組みについて、具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボディメカニクスの基本知識について実技(身体を動かして)を交えて演習する。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体の関節をまとめる問題</li> <li>・関節の可動域に関する完成問題</li> </ul>
イ 生活支援技術の講義・演習 (50～55 時間) ④生活と家事	2.5	1.5	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅・施設各々の生活場面の違いを具体例を交えて講義</li> <li>・対象利用者の多様な生活習慣・価値観について具体例を交えて講義。</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生活習慣や価値観についてグループディスカッションする。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援に関する記述問題</li> </ul>
⑤快適な居住環境整備と介護	2.5	1.5	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居住環境の整備方法、福祉用具それぞれの特徴・使用方法について具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「居住環境のバリアフリー化」についてグループディスカッションする。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅改修に関する記述問題</li> </ul>

⑥整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3	3	0	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。</li> <li>・整容介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着脱介助、洗面場面の介助についての実技</li> </ul>
⑦移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	14	12	2	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。</li> <li>・移動・移乗介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片麻痺での麻痺側への寝返り介助、側臥位から端座位への介助、座位バランストレーニング、起立介助などの実技</li> <li>・車いすの操作方法</li> <li>・ベッドと車いす間、椅子と車いす間、便器と車いす間の移乗を行う。</li> <li>・屋外で様々な路面上で車いすを押して介助する。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動と移乗についての記述問題</li> <li>・車いすの各部分の名称を記述する。</li> </ul>
⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	8	6	2	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。</li> <li>・食事介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人1組になり食事介助、飲水介助を交互に行う。また、食事動作の姿勢変化を体験する。</li> <li>・とろみの付け方を学ぶ。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の意味について、身体面・精神面・社会面からそれぞれ記述する。</li> <li>・唾液に働きに関する記述問題</li> </ul>
⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。</li> <li>・入浴介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更衣動作と入浴動作を自立と介助の2パターンで体験する。</li> <li>・ベッド上での清拭介助を体験する。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴の意義・目的についての記述問題</li> </ul>
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	6	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚教材を用いた予備知識の習得。</li> <li>・排泄介助に関する基礎知識を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベッド上での排泄介助を体験する。</li> <li>・腹部のマッサージの仕方を学ぶ。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担と留意すべき点について記述する。</li> <li>・便秘に対するケアについて記述する。</li> </ul>
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4	3	1	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠に関する基礎知識を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安楽姿勢を介護用品などを使って作り出す。</li> </ul> <p>&lt;通信学習課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠の意義と目的について記述する。</li> </ul>
⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	3	3	0	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターミナルケアに関する基礎知識を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたが望む「最期の在り方」について、できるだけ詳細に話し合う。</li> <li>・「エンジェルケア」について、用品の使い方を学ぶ。</li> </ul>
ウ 生活支援技術演習（10～12時間） ⑬介護過程の基礎的理解	6	6	0	<p>&lt;講義内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護過程の目的・展開方法を具体例を交えて講義</li> </ul> <p>&lt;演習内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「具体事例」について、班体制を用いケーススタディ</li> </ul>

⑭総合生活支援技術演習	6	6	0	<演習内容> 事例1：脳卒中片麻痺の方と事例2：認知症の方の事例をもとに、評価分析・ニーズ把握・目標・支援内容・実施計画・注意点・工夫点を記入する。
(合計時間数)	75	63	12	

使用する機器・備品等	(株)QOL発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属DVD パソコン、視聴覚教材(DVD)、プロジェクター、スクリーン 高齢者疑似体験教材
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 190

商号又は名称：医療法人今城クリニック 花笑み介護塾

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	3	3		<講義内容> 1. 研修を通して学んだこと 2. 今後継続して学ぶべきこと 3. 根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等)
②就業への備えと研修修了後における実例	1	1		<講義内容> 1. 継続的に学ぶべきこと 2. 研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような当法人における実例(Off-JT, OJT)を紹介する。
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	(株)QOL 発行「介護職員初任者研修テキスト」及び付属 DVD パソコン、視聴覚教材(DVD)、プロジェクター、スクリーン
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。